



(左上)約78m×48mの競技フロアと中四国最大の5,024席の固定観客席を備えたメインアリーナ (右上)約47m×38mの競技フロアと1,002席の固定観客席を備えたサブアリーナ
(左下)観客席(写真右上)との間に壁を設けないことでアリーナとの一体感が演出された交流エリア (右下)建物全体が際立つように円弧状大屋根の軒下に設けられたダウンライト

香川県立アリーナ あなぶきアリーナ香川

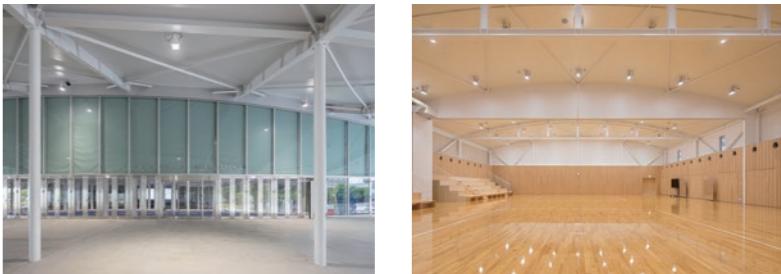
訪れる人びとにも開かれた 曲線で構成された多目的アリーナ

SANAAの設計による「あなぶきアリーナ香川」は、瀬戸内海に面した立地環境と地域文化に調和する開放的なデザイン。東側にメインアリーナ、中央にサブアリーナ、その西側に武道施設という3つのボリュームが連なり、それらを一体的に覆う緩やかな曲線を持つ円弧状の大屋根を特徴としている。施設へは多様な方向からアクセス可能で、試合やイベントがなくても人びとが気軽に立ち寄り、回遊できるよう計画されており、エントランス広場や交流エリアなど、建物内外に公共空間が確保されている。メインアリーナは、

固定観客席5,024席で最大収容人員は約1万人。天井高は最大約27.6mが確保されており、バレー・ボールやバスケットボールなどの室内競技だけでなく、コンサートやMICEにも利用可能な多目的アリーナとして計画されている。メインアリーナでは高天井用照明器具230台がドーム内のトラスに配置されており、競技種目や用途に応じて小型記憶調光システム「シーンマネージャーG」によって照明シーンの切り替えが可能。交流エリアは観客席との間に壁を設けないことでアリーナとの一体感が確保されており、試合やイベントが開催されていない時も人びとが集い、ともに楽しめる場となっている。

あなぶきアリーナ香川

所在地／香川県高松市サンポート
事業主／香川県
設計／SANAA(妹島和世+西沢立衛)
建設工事／大林・合田・菅特定建設工事共同企業体
電気設備工事／四電工・三和電業特定建設工事共同企業体
空調設備工事／三建設備・三喜工事・雉鳥工業特定建設工事共同企業体
オープン／2025年2月
規模／地下1階・地上2階(延床面積:28,975m²)



エントランスを照らすLED高天井用照明器具。
イベントが開催されない時も地域に開放されている
可動間仕切りにより3分割可能な武道施設は
多目的ルームとしても利用される

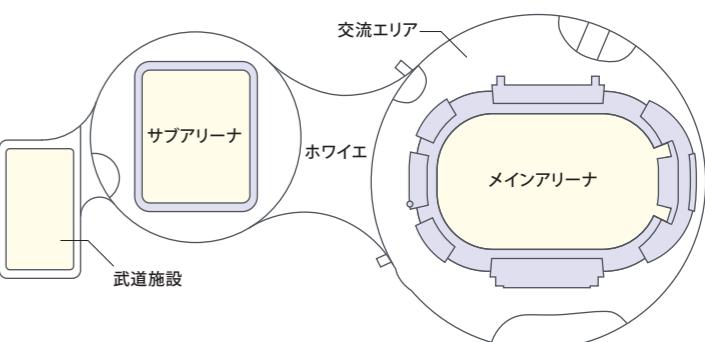


アリーナ全体の設備を監視制御する
統合監視システム「ESU-BA」



サブアリーナの機械室に設置された
吸収式冷温水機
メインアリーナの放送席に設置された
小型記憶調光システム「シーンマネージャーG」

平面図(2階:交流エリアレベル)



主な納入設備

- LED高天井用照明器具
- LEDダウンライト
- 照明制御システム
- 統合監視システム
- 吸収式冷温水機